

平成21年第4回臨時会
提出議案の内容と審議結果

○境町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案
〔即日原案可決〕
境町女性消防団の発足に伴い、団員定数を改正するため、条例の一部を改正するものです。
○平成21年度境町一般会計補正予算(第4号)
〔即日原案可決〕
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を81億3千768万9千円とするものです。

平成21年第5回臨時会
提出議案の内容と審議結果

○専決処分の承認を求めることについて(平成21年度境町一般会計補正予算第5号)
〔即日原案承認〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千368万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を81億6千137万6千円とするものです。
○境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
〔即日原案承認〕

平成21年8月11日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するものです。
○境町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案(即日原案可決)
平成21年8月11日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するものです。
○境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条例に関する条例の一部を改正する条例案
〔即日原案可決〕
平成21年8月11日の人事院勧告に基づいて、条例の一部を改正するものです。

平成21年第4回定例会
提出議案の内容と審議結果

○境町公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部を改正する条例案
〔原案可決〕
境町研修センターの設置に伴い、条例の一部を改正するものです。
○境町介護保険条例の一部を改正する条例案
〔原案可決〕
介護保険料に係る延滞金の割合を納付期限から一定期間軽減する措置を講ずることにより、介護保険料の納付が困難となつていた被保険者の経済的負担の軽減に資するため、条例の一部を改正するものです。
○茨城西南地方広域市町村圏事務組合規約の一部改正
〔原案可決〕
広域市町村圏計画の策定等に関する事務を削除するものです。
○平成21年度境町一般会計補正予算(第6号)
〔原案可決〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6千132万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を82億2千270万3千円とするものです。
○平成21年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ531万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を32億6千588万6千円とするものです。
○平成21年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
〔原案可決〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ146万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億4千286万7千円とするものです。
○平成21年度境町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
〔原案可決〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ26万円を追加し、歳入歳出

予算の総額を12億4千979万3千円とするものです。
○平成21年度境町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
〔原案可決〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千926万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億7千756万5千円とするものです。
○平成21年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
〔原案可決〕
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ655万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億7千157万6千円とするものです。

人事

○平成22年4月に改選される次の3名の人権擁護委員を適任と認める。

- 氏名 植竹 里子
生年月日 昭和14年9月21日
住所 境町2177番地31
- 氏名 下河邊 栄晃
生年月日 昭和18年4月1日
住所 境町大字伏木2153番地
- 氏名 田中 次郎
生年月日 昭和19年4月21日
住所 境町大字上小橋469番地

一般質問

12月10日午後5時に質問の通告を締切、今回は8名の議員から通告があり、15日と16日の2日間に亘り行いました。紙面の関係上その概略は次のとおりです。
なお、質問及び答弁の全文については、「境町議会ホームページ」に掲載しております。

議席14番 齊藤 政雄 議員



○3期目の出馬について
Q. マニフェストについて
A. 国政における民主党への政権交代、円高ドル安の不安定な経済情勢や地方分権の在り方等の社会情勢を踏まえ、これからの様々な諸課題に対し、政策を実行する手順を今後どう取り組んでいくかを町民の皆様方に分かりやすく説明するマニフェストは極めて大切な手法であると考えております。このようなことから、今回私は行政の継続性、安定性を確保し、困難な社会情勢の中で当面の基本的課題に対し、町の将来の展望をより確かなものにする使命と責任から、不退転の決意をもって来年執行される町長選挙に三度目の出馬をする。

議席1番 濱野 健司 議員



○境町の借入金について
Q. 町民一人当たりの借金を計算した場合、どのくらいになるか。
A. 町の借入額がおよそ164億円です。から子供も含めた全町民で計算すると、一人当たり約64万円になります。

○古河の広報には市民当たり約50万円と明記してあり財政状況も見やすいのでさかい広報も分かり易くしてほしい。
A. 検討いたします。
○子育て支援について
Q. 政権交代により、子育て支援金が

始まるようであるが、国が町に負担を強いられる場合は考えられるか。又、その対応策はどのように考えているか。

Q. 中学校卒業までの対象者が約3千人で総額約10億円になるわけで、国が全額負担するのが当然である。
A. 地方負担を求める動きがあるが、境町としては、関係機関等々と足並みをそろえる考え方で調整し進めていく。
Q. 新年度に向けて国が無駄を省く動きが活発だと感じるが、当町としても心がけて欲しいか。
A. これまで同様今後も心がけていく。

○父子家庭の補助について
Q. そんな中前回の一般質問時から私たちは父子家庭の補助は難しいのか。A. やはり国の動きに合わせて行きたい。
Q. 他の約百三十自治体のように、境町の百十四世帯の安心のために、少しでも補助の枠を作ってはどうか。
A. 補助を出すすると、約六千四百万と予想出来るが予算を作るのが難しい。
Q. 母子家庭にあって父子家庭にないのと、父子家庭の子供に説明納得させるのが難しいと考えるか。
A. 今後の課題として考えて行きたい。

議席7番 田山 文雄 議員



Q. 予算説明書について、少しでも具体的な事業の内容を住民のみなさんにお知らせすることを目的に、独自でわかりやすい予算説明書を作成して